

(様式 1 - 3)

福島県(川俣町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 28 年 7 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	13	事業名	放射線に対する健康不安解消事業	事業番号	(3)-22-8
交付団体	川 俣 町		事業実施主体(直接/間接)	川俣町(直接/間接)	
総交付対象事業費	(11,068(千円)) 11,278(千円)		全体事業費	(11,068(千円)) 11,278(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
本事業を活用し、原発事故に伴う健康被害に対する町民の不安を払拭することで、避難住民の帰還促進につなげる。 ※対象者には避難区域に恒常的に立ち入りする町民も含める。					
事業概要					
平成 27 年度には、学識経験者等からなる第三者機関を設置し、これまでの放射線の低減事業等や放射線の健康影響等に関して検証を行い、更に放射線リスク等に対する住民の不安の解消を図る住民との個別相談会を実施した。 平成 28 年度は放射線リスク等に対する住民の不安の解消を図る個別相談会を以下の「当面の事業概要」の内容で継続実施する。 <川俣町復興計画(第 2 次)> 16 頁、21 頁「原子力災害の総合相談窓口の設置」、24 頁「放射線からの健康管理対策の推進」					
当面の事業概要					
<平成 28 年度> ・避難住民が所持している個人積算線量計(Dシャトル)の結果などを元に個別の健康相談を開催する。 ・放射線研究、放射線医学・メンタルケア等の専門家が要望に応じて健康相談に応じる。 (内訳) ・謝金(2 名) 36,000 円 ・宿泊費等(旅費+宿泊費) 144,000 円 ・消耗品(インクカートリッジ、紙等) 30,000 円 合計 210 千円					
地域の帰還環境整備との関係					
・復興計画基本方針にある「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を図るため、本事業にて放射線に関する不安の軽減・払拭を図り、住民帰還に結びつける。					
関連する事業の概要					
放射線モニタリング業務委託事業					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

福島県(川俣町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	17	事業名	山木屋中学校特別教室棟増築事業		事業番号	(1)-14-1
交付団体		川俣町	事業実施主体(直接/間接)		川俣町(直接)	
総交付対象事業費		12,358(千円)	全体事業費		124,127(千円)	
帰還環境整備に関する目標						
山木屋小中一貫校として学校を再開する。校舎については山木屋小学校を利用し老朽化対策や質的整備等大規模改造を行う。また、中学教育に必要な特別教室(技術室・図書室)については改築し整備する。子どもが安心して学校生活をおくるようにするため、山木屋地区で学校再開に必要なインフラ整備を行い、帰還後の教育環境の整備を図る。						
事業概要						
山木屋中学校校舎は、平成21年度に実施した耐震診断の結果Is値0.5と低い数値の判定であった。また、長期間の放置によって維持管理できず現状では利用できない。小中一貫校として学校再開するにあたり、山木屋小学校校舎を利用するが、中学生使用の特別教室(図書室、技術室)が不足しているため、敷地内に増築し、教育環境を整備する。						
【山木屋中学校必要面積】 2,246m ²						
【保有面積】 1,785m ² (旧校舎面積)+209m ² (小学校転用した専有部分)=1,994m ²						
【整備資格面積】 2,246m ² (必要面積)-1,994m ² (保有面積) = 252m ² > 170m ² (実施面積)						
①山木屋中学校特別教室棟増築工事地質調査業務委託 6,779,160円						
②山木屋中学校特別教室棟増築工事設計積算業務委託 5,579,280円						
③山木屋中学校特別教室棟増築工事 108,669,600円						
④山木屋中学校特別教室棟増築工事監理業務委託 3,099,600円						
当面の事業概要						
<平成28年度> 特別教室棟増築工事に伴う測量地質調査、実施設計及び積算業務を行う。						
<平成29年度> 特別教室棟増築工事及び工事監理業務を行う。						
地域の帰還環境整備との関係						
山木屋小中一貫校の整備を行い、子どもが安心して学校生活をおくれる環境を確保するために、帰還に必要なインフラ整備を行う。						
関連する事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県 (川俣町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 28 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	18	事業名	山木屋小学校プール改築 (本体) 事業		事業番号	(1) -15-1
交付団体		川俣町	事業実施主体 (直接/間接)		川俣町 (直接)	
総交付対象事業費		34,015 (千円)	全体事業費		286,043 (千円)	
帰還環境整備に関する目標						
山木屋小中一貫校として学校再開を行う。小学校敷地内に上屋付きプールを整備し、子どもが安心して学校生活をおくるようにすることで、川俣町山木屋地区で学校再開に必要なインフラ整備を行い、帰還後の教育環境の整備を図る。						
事業概要						
山木屋小学校のプールは、長期間の放置によって維持管理ができず劣化し、利用できないため改築する。また、原子力災害による放射線の影響を考慮しプールに上屋を新築する。 (整備概要) R 造、延建設面積 560m ² 、水面積 325m ² (25m×6 コース) 附属建屋 40m ²						
①山木屋小学校地下水・地質調査他業務委託			16,306,921 円			
②山木屋小学校プール改築 (本体) 工事設計積算業務委託			17,708,760 円			
③山木屋小学校プール改築 (本体) 工事			248,776,920 円			
④山木屋小学校プール改築 (本体) 工事監理業務委託			3,250,800 円			
当面の事業概要						
＜平成 28 年度＞ 上屋付プール改築工事に伴う地下水調査、測量地質調査、実施設計及び積算業務を行う。						
＜平成 29 年度＞ 上屋付プール改築工事、解体工事及び工事監理業務を行う。						
地域の帰還環境整備との関係						
山木屋小中一貫校の整備を行い、子どもが安心して学校生活をおくれる環境を確保するために、帰還に必要なインフラ整備を行う。						
関連する事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県(川俣町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	19	事業名	山木屋小学校プール新築(上屋)事業		事業番号	(1)-15-2
交付団体		川俣町	事業実施主体(直接/間接)		川俣町(直接)	
総交付対象事業費		7,904(千円)	全体事業費		189,537(千円)	
帰還環境整備に関する目標						
山木屋小中一貫校として学校再開を行う。小学校敷地内に上屋付きプールを整備し、子どもが安心して学校生活をおくるようにすることで、川俣町山木屋地区で学校再開に必要なインフラ整備を行い、帰還後の教育環境の整備を図る。						
事業概要						
山木屋小学校のプールは、長期間の放置によって維持管理ができず劣化したため利用できないため、改築する。また、原子力災害による放射線の影響を考慮しプールに上屋を新築する。 (整備内容) S造(一部開閉式)、560m ² ①山木屋小学校プール新築(上屋)工事設計積算業務委託 7,904,520円 ②山木屋小学校プール新築(上屋)工事 173,652,120円 ③山木屋小学校プール新築(上屋)工事監理業務委託 7,981,200円						
当面の事業概要						
<平成28年度> プール新築(上屋)工事に伴う、実施設計及び積算業務を行う。 <平成29年度> プール新築(上屋)工事、解体工事及び工事監理業務を行う。						
地域の帰還環境整備との関係						
山木屋小中一貫校の整備を行い、子どもが安心して学校生活をおくれる環境を確保するために、帰還に必要なインフラ整備を行う。						
関連する事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1 - 3)

福島県 (川俣町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 28 年 7 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	20	事業名	山木屋小中学校(小学校)大規模改造(老朽)事業		事業番号	(1) -15-3
交付団体		川俣町	事業実施主体 (直接/間接)		川俣町 (直接)	
総交付対象事業費		10,085 (千円)	全体事業費		121,265 (千円)	
帰還環境整備に関する目標						
山木屋小中一貫校として学校を再開する。川俣町山木屋地区で学校再開に必要なインフラ整備を行い、帰還後の教育環境の整備を図り、山木屋小学校の校舎を利用する小学生児童及び中学校生徒が、安心して学校生活をおくるようにする。						
事業概要						
山木屋小学校校舎は、長期間の放置によって維持管理ができず校舎の外部内部ともに著しく劣化等したため、小中一貫校として再開するにあたり、小学校校舎の外部及び内部等老朽部及び、校舎内部の質的整備の大規模改造を行い、教育環境を整備する。 (保有面積による按分) 小学校 : 中学校 = 1147.5 m ² : 975.5 m ² = 54 : 46 (委託費、工事費を按分) (整備内容・老朽) 外部 : 屋根塗装、防水工事、外壁塗装工事等 内部 : 床塗装、シート張替、壁紙張替、天井張替工事等 (質的整備) 高効率型照明の導入、トイレ環境整備、冷暖房機改修一式等 ①山木屋小中学校(小学校)大規模改造(老朽)工事設計業務委託 10,085,278 円(小中計 18,676,440 円) ②山木屋小中学校(小学校)大規模改造(老朽)工事 105,324,754 円(小中計 195,045,840 円) ③山木屋小中学校(小学校)大規模改造(老朽)工事監理業務委託 5,855,328 円(小中計 10,843,200 円)						
当面の事業概要						
<平成 28 年度> 校舎大規模改造 (老朽) 工事実施設計及び積算業務を行う。						
<平成 29 年度> 校舎大規模改造 (老朽) 工事及び工事監理業務を行う。						
地域の帰還環境整備との関係						
山木屋小中一貫校の整備を行い、子どもが安心して学校生活をおくれる環境を確保するために、帰還に必要なインフラ整備を行う。						
関連する事業の概要						
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。						
関連する基幹事業						
事業番号						
事業名						
交付団体						
基幹事業との関連性						

(様式 1-3)

福島県(川俣町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	21	事業名	山木屋小中学校(中学校)大規模改造(老朽)事業		事業番号	(1)-15-4
交付団体		川俣町	事業実施主体(直接/間接)		川俣町(直接)	
総交付対象事業費		8,591(千円)	全体事業費		103,300(千円)	
帰還環境整備に関する目標						
山木屋小中一貫校として学校を再開する。川俣町山木屋地区で学校再開に必要なインフラ整備を行い、帰還後の教育環境の整備を図り、山木屋小学校の校舎を利用する小学生児童及び中学校生徒が、安心して学校生活をおくるようにする。						
事業概要						
山木屋中学校校舎は、平成21年度に実施した耐震診断の結果Is値0.5と低い数値の判定であった。また、長期間の放置によって維持管理ができず校舎の外部内部ともに著しく劣化等したため、現状では利用できない。一方、小学校校舎については築20年を経過するも耐震性等に問題は無い。小中一貫校として再開するにあたり、山木屋小学校校舎を利用するため、外部及び内部等の老朽部及び校舎内部の質的整備の大規模改造を行い、教育環境を整備する。 (保有面積による按分) 小学校：中学校＝1147.5㎡：975.5㎡＝54：46(委託費、工事費を按分) (整備内容・老朽) 外部：屋根塗装、防水工事、外壁塗装工事等 内部：床塗装、シート張替、壁紙張替、天井張替工事等 (質的整備) 高効率型照明の導入、トイレ環境整備、冷暖房機改修一式等 ①山木屋小中学校(小学校)大規模改造(老朽)工事設計業務委託 8,591,162円(小中計 18,676,440円) ②山木屋小中学校(小学校)大規模改造(老朽)工事 89,721,086円(小中計 195,045,840円) ③山木屋小中学校(小学校)大規模改造(老朽)工事監理業務委託 4,987,872円(小中計 10,843,200円)						
当面の事業概要						
<平成28年度> 校舎大規模改造(老朽)工事実施設計及び積算業務を行う。						
<平成29年度> 校舎大規模改造(老朽)工事及び工事監理業務を行う。						
地域の帰還環境整備との関係						
山木屋小中一貫校の整備を行い、子どもが安心して学校生活をおくれる環境を確保するために、帰還に必要なインフラ整備を行う。						
関連する事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県(川俣町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	22	事業名	山木屋小学校体育館大規模改造(老朽)事業		事業番号	(1)-15-5
交付団体		川俣町	事業実施主体(直接/間接)		川俣町(直接)	
総交付対象事業費		7,362(千円)	全体事業費		74,918(千円)	
帰還環境整備に関する目標						
山木屋小中一貫校として学校を再開する。川俣町山木屋地区で学校再開に必要なインフラ整備を行い、帰還後の教育環境の整備を図り、山木屋小学校の校舎を利用する小学生児童及び中学校生徒が、安心して学校生活をおくるようにする。						
事業概要						
長期間の放置によって維持管理ができず体育館の外部内部ともに著しく劣化等したため、現状では利用できない。小中一貫校として再開するにあたり、山木屋小学校体育館を利用するため、体育館の老朽化対策等を行い教育環境を整備する。 (整備内容) 老朽:(外部)屋根塗装及び防水、外壁塗装、(内部)床ウレタン塗装、ライン改修工事 質的整備:高効率型照明器具の導入、トイレ改修工事 ①山木屋小学校体育館大規模改造(老朽)工事設計積算業務委託 7,362,360円 ②山木屋小学校体育館大規模改造(老朽)工事 63,689,760円 ③山木屋小学校体育館大規模改造(老朽)工事監理業務委託 3,866,400円						
当面の事業概要						
<平成28年度> 体育館大規模改造(老朽)工事設計及び積算業務を行う。 <平成29年度> 体育館大規模改造(老朽)工事及び工事監理業務を行う。						
地域の帰還環境整備との関係						
山木屋小中一貫校の整備を行い、子どもが安心して学校生活をおくれる環境を確保するために、帰還に必要なインフラ整備を行う。						
関連する事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	